



2020年8月21日

お客様各位

東京海上アセットマネジメント株式会社

国連責任投資原則(PRI) の2020年の年次評価について

東京海上アセットマネジメント株式会社(代表取締役社長 後藤俊夫、以下、当社)は、国連責任投資原則(Principles for Responsible Investment、以下、PRI)の2020年アセスメント(年次評価)において、以下の項目につき、最高評価の「A+」を獲得いたしましたことをご報告いたします。

当社は、資産運用を通じて、豊かで快適な社会生活と経済の発展に貢献することを経営理念の一つとしており、お客様にとっての中長期的な投資リターンの上を目指し、すべてのアセットクラスにおいてESGインテグレーションに注力しています。

今後とも、責任ある機関投資家としての使命を果たすため、投資先の中長期的な持続可能性を適切に考慮したサステナブル投資を一層強力に進めてまいります。

◆ PRI 2020年アセスメント(年次評価)

◆総合評価(戦略とガバナンス)	A+
◆上場株式投資におけるESGの統合	A+
◆上場株式におけるアクティブオーナーシップ	A+
エンゲージメント	A+
議決権行使	A+
◆債券投資(国債等)	A+
◆債券投資(社債等)	A+
◆債券投資(外部委託運用)	A+
◆海外不動産投資(外部委託運用)	A+
◆プライベートエクイティ投資(外部委託運用)	A+

- PRIは国連環境計画・金融イニシアティブと国連グローバル・コンパクトの支援の下、2006年に当時のアナン国連事務総長が提唱した原則です。持続可能な社会の実現に向けて、責任ある機関投資家として投資分析と意志決定プロセスにESGの観点を組み込むこと等を求めています。当社は、PRIの考え方に賛同し、2011年3月に署名いたしました。
- PRIの年次評価は、署名する機関投資家を対象に、PRI事務局が責任投資の実施状況等について評価したものであり、評価は6段階(A+、A、B、C、D、E)で付与され、「A+」が最高評価となっています。

以上